

IRB番号「2017-1118」

研究課題名「癌関連線維芽細胞機能制御に基づく新規肝がん治療法の開発」

1. 研究の対象

2018年～2023年にがん研究会有明病院において肝細胞がんおよび転移性肝がんの治療を受けられた方を対象としています。

2. 研究の目的・方法

肝がんは、外科的切除後の再発率が高く、手術後の再発が生命の予後を決定する重要な因子です。肝がんの発症・進展に関わる機序があきらかにすることは、その発症予防、新規治療開発につながります。本研究では肝がん患者さんの新しい予防法、治療法の開発を目指します。

あなたの血液、手術時に切除した肝臓組織を国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センターへ送付し、詳しい解析を行う予定です。他機関への試料・情報の送付を希望されない場合は、送付を停止いたしますので、ご連絡ください。

血液肝臓切除時の肝組織を用いて肝がん発症と関連の強い遺伝子を解析します。その際、カルテより下記の情報を取得し解析結果との関連を明らかにします。

3. 研究期間

承認日 ～ 2022年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

年齢、性別、身長、体重、血液検査結果（血小板数、アルブミン、肝機能、感染症、腫瘍マーカー）、病理組織診断、CTなどの画像評価等

5. 外部への試料・情報の提供

あなたの生体資料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけ、誰のものかわからないようにした上で、当院診療科にて外部と接続しないコンピュータにパスワードをかけた上で厳重に保管します。また結果の公開にあたっては、統計データを基本とし、氏名、生年月日等、個人を識別できる情報は含まれません。

6. 研究組織

主研究施設：国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター（研究代表者：センター長 考藤達哉）

研究協力施設（研究分担者）：国立国際医療研究センター国府台病院（今村雅俊、青木孝彦、青柳信嘉）、同肝炎・免疫研究センター（大澤陽介、由雄祥代、杉山真也、土肥弘義、島垣智成、坂本譲、河合裕成）、東京都立駒込病院（木村公則、本田五郎）、九州大学大学院消化器・総合外科学（吉住朋晴）、北海道大学大学院消化器外科学分野I（武富紹信）、東京慈恵会医科大学 消化器外科（矢永、脇山、松本）、がん研有明病院 外科（斎浦明夫）

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
肝胆膵外科 副医長 三瀬祥弘（内線7058）
研究責任者 肝・胆・膵外科 部長 齋浦 明夫
連絡先：電話番号03-3520-0111（代表） FAX番号03-3520-0141

研究責任者：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 肝・胆・膵外科 部長 齋浦 明夫
連絡先：電話番号03-3520-0111（代表） FAX番号03-3520-0141

研究代表者：

国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
Tel：(047)-372-3501
肝炎・免疫研究センター長 考藤達哉